

令和4年度群馬県立高崎東高等学校2学期終業式式辞

みなさん、こんにちは。本校の学則で定める2学期は12月31日までですが、事実上本日をもちまして2学期が終業します。あわせて、令和4年、西暦2022年もあと8日で終わります。今年1年がどのような年であったのか、どこかで思い起こしてください。

さて明日はクリスマス・イブです。クリスマスの持つロマンティックでメルヘンな雰囲気は、多くの日本人を虜にしてきました。キリスト教を主に信仰している国ではないのに、なぜこれほどまでにクリスマスが日本に浸透したのでしょうか。若い女性が好みそうな雰囲気、プレゼントを贈ったり贈られたり、美味しいケーキやご馳走を食べている欧米文化への憧れなど、その要因は様々なものがあるでしょう。しかし私は日本が農耕社会であったこともクリスマス普及の一因なのではと思っています。

クリスマスはイエス・キリストの生誕祭ですが、イエス・キリストが12月25日に生まれたとする確たる証拠はありません。つまりキリストの誕生日は不明なのです。ベツレヘム、現在のヨルダンの馬小屋でキリストが生まれたニュースは天使によって羊飼いに告げられ、羊飼いがこのニュースを広めました。このことから農耕というよりは牧畜に適した乾燥しがちな気候の地域でキリストは生まれたこととなります。そのキリスト教がラテン系の古代ローマ帝国へ、さらにゲルマン系民族が暮らす地域へと広めるため、キリスト教は現地の文化や土着信仰を吸収しながら、つまりその地域の人々に受け入れやすく変容しながらその教義を整えていったと考えられています。12月25日は古代ローマの暦では冬至にあたります。この冬至の9カ月前の3月25日は、天使がマリアにイエス・キリストの受胎を告げた日です。なおこの3月25日は処刑されたキリストが復活した日、復活祭（イースター）の時期でもあります。農耕民族にとって太陽は重要な信仰対象です。日本でも太陽の神は天照大神となっています。太陽の力が一番弱くなるのが冬至の日、一日の半分以上太陽が出るように変化する日が春分の日です。イエス・キリストは春分の日にはマリアのお腹の中に宿り、太陽が徐々に成長することに合わせてお腹の中で成長し冬至の日に生まれ、さらに冬至の日を境に徐々に太陽が成長するようにイエスが成長していったとすることで、キリストと太陽を重ね合わせ、農耕民族にキリスト教の教えを浸透させていったと考えられているのです。なお、ゲルマン民族には冬の時期でも緑を保ち続ける針葉樹の巨木を信仰する風習があり、これがクリスマス・ツリーの原型になりました。

遊牧・牧畜の世界で生まれた宗教が、農耕社会へ広がるために変化していった、だから太陽との結び付きが深い稲作農耕の歴史を持つ日本には、クリスマスが持っている雰囲気を教義抜きで受け入れやすかったのではと思うのです。なお、日本にもゲルマン民族の巨木信仰と同じように太く大きな樹木には神が宿るとされ信仰の対象となっています。

これから迎える年末年始には薄れてきたとはいえ、様々な風習やしきたりがあります。チョコちゃんではありませんが、「何で大晦日にはそばを食べるの?」とか、「何でお正月にはお餅を食べるの?」など、当たり前と思っている事に疑問を持ってみる、そんな冬休みを過ごすのも悪くないと思います。余談になりますが、私は山下達郎さんというシンガーソングライターのファンです。私たちオジサン世代のクリスマス・ソングと言えば、山下さんの「クリスマス・イブ」になります。この曲は1983年6月に発売されたアルバム「MELODIES」に収録され、同年の12月にシングルとして発売されました。5年後の1988年、JR東海の「シンデレラエクスプレス」というテレビCMで使われたことによりブレイクし、現在ま

で毎年 12 月になるとシングルレコードもしくはCDが発売され、37 年連続でオリコンにチャートインするというギネス記録を持つ楽曲です。この「クリスマス・イブ」は、バロック時代の音楽家パッヘルベル作曲の「カノン」のコード進行が使われており、「クリスマス・イブ」以外にも多くの J ポップのヒット曲にこのコード進行が採用されているそうです。「なぜ日本人はカノンのコード進行が好きなのか?」、「どんなコード進行を日本人は好むのか」など、年末・年始の風習やしきたりについて興味を持ったり調べたりするのと同じように、日本のヒット曲の特徴や共通点を調べてみるのもいいでしょう。もしかしたらそんな所に探求学習のヒントやきっかけがあるのかも知れません。

最後に、「クリスマス・イブ」が発表された 1983 年は今から 39 年前です。今年 10 月 12 日、本校は創立 39 周年の記念式を挙行了しました。我らの高東が、「クリスマス・イブ」と同様に息長く多くの人から親しまれる、そんな学校であり続けるためにも、改修された校舎を綺麗に使っていただくことを皆さんに要請し、2 学期終業式の式辞とします。